

千葉商科大学 プレスリリース

千葉商科大学

全国から 1,774 件の「サがつくひらめき」 「サービス創造大賞2016」受賞者決定！

千葉商科大学(学長代行:鈴木春二)サービス創造学部(学部長:吉田優治)は、「サービス創造」の重要性を広く社会に認識していただくことを目的とした「サービス創造大賞2016」について、学部公式サポーター企業(学部教育への協力協定を結んだ企業)ならびに本学審査委員会による厳正なる審査の結果、受賞アイデアを決定いたしましたのでお知らせします。

第9回目となる同募集企画は、一般課題部門「あったらいいな、こんなサービス」に加えて、同学部公式サポーター企業協力のもと、企業課題部門として「あったらいいな学校生活を豊かにするこんなサービス」を設置。今までにない斬新な発想を取り入れた優秀なアイデアを募集しました。

今年度7月から受付を開始し、集まったアイデアは1,774件(一般課題部門:1,097件、企業課題部門677件)にのぼりました。受賞アイデアは、大賞2点、準大賞2点、優秀賞5点、高校賞12点です。

大賞は、一般課題部門「赤ちゃん専用車両」(近江屋佳穂さん:千葉商科大学1年)、企業課題部門「地域部活動」(中道遼さん:北海道岩見沢緑陵高等学校2年)がそれぞれ選ばれました。

「赤ちゃん専用車両」では、赤ちゃんを連れた方が電車に乗る際に「子どもが泣いたり騒いだりして周りに迷惑をかけてしまうのではないか」という子育ての不安に着目。日常で利用する一般列車の車両に子ども向けの内装やおもちゃを用意した「赤ちゃん専用車両」を設けることで、周りに迷惑をかけず親も気兼ねなく電車に乗ることができるサービスを提案しました。また、「地域部活動」では、「学校にない部活でもやりたいと思っている人はたくさんいる」という生の声から、学校では作るのが難しい部活動や、人数が揃わない部活動を地域単位で募集して部活動として作るサービスを提案。学校と地域のつながりや地域同士のつながりが強くなることで、良い影響があるのではないかとことまで考えられていました。

大賞に輝いた作品の詳細ならびに受賞アイデア一覧は別紙をご参照ください。また、審査結果の詳細は、千葉商科大学「サービス創造学部」Web ページにて発表しておりますので、ぜひご覧ください。(同大賞の受賞品は、Web ページ上での発表を以て受賞者にお贈りしています。)

サービス創造学部 Web ページ <http://mit.prof.cuc.ac.jp/fsiblog/taisyo-2016>

※2016年12月27日(火)～2017年1月5日(木)は年末年始休業のためお問い合わせは受付いたしておりません。ご了承いただけますようお願い申し上げます。

<本件に関する問い合わせ先> 千葉商科大学 戦略広報センター

〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1 TEL:047-373-9968 E-mail:p-info@cuc.ac.jp

CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

www.cuc.ac.jp

サービス創造大賞 2016 受賞アイデア一覧

応募総数 1,774 件（一般課題部門 1,097 件 企業課題部門 677 件）

★大賞（奨学金 10 万円）

一般課題部門

■タイトル：「赤ちゃん専用車両」 千葉商科大学 1 年 近江屋佳穂さん

電車に乗っているときに、赤ちゃんや、まだ小さい子供が泣いたり騒いだりして迷惑をかけちゃうとお母さんとかは考えていると思います。女性車両があるのと同じで赤ちゃん又は小さい子連れの方専用車両をもうけることで、周りにも迷惑をかけずに良いサービスだと考えました。そして、赤ちゃん専用車両は子供が乗りながらも楽しめるように壁をアンパンマンとかに変えたり、おもちゃがあったり、遊び心がある車両にするのはどうかなと思いました。

企業課題部門

■タイトル：「地域部活動」 北海道岩見沢緑陵高等学校 2 年 中道遼さん

学校では作るのが難しい部活や、人数がそろわない部活を地域単位で募集して部活として作るシステム。学校にない部活でもやりたいと思っている人はたくさんいると思います。そこでこのサービスでは、そういった人が学校の名前を借りて、地域の方を対象にその部活のアピールをして興味を持った方と一緒に部活動をするというものです。こういった活動を学校ですることによって、学校と地域がつながり地域の方がたの学校の活動への関心が高まり、学校の活動に協力してくれるきっかけになるかもしれません。こうした活動を全国で実施すれば、もっと地域同士のつながりが強くなりいい影響が出てくると思います。

★準大賞（奨学金 5 万円）

一般課題部門

■タイトル：「街角人影センサー」 北海道札幌東商業高等学校 2 年 大谷夏葵さん

学校への登下校時や階段、学校の廊下など、角を曲がる時に、反対側から来る人や自転車と衝突しそうになることがあります。これはいつか事故につながる危険性があると考えます。そこで考えたものが、「街角人影センサー」です。これは、建物や壁によって人が来ているのかわからない場所に設置するもので、曲がり角に人が近づいてきたら、その人の影を察知してランプが点灯して知らせてくれるものです。通学路や人が非常に多い場所に設置することによって、衝突事故を未然に防ぐことができるようになると思います。また、公園の出入り口に設置すると子供の飛び出し事故なども防ぐことができるのではないかと考えます。

企業課題部門

■タイトル：「先生の負担を軽減！サポート職員派遣サービス」 一般・熱田幸子さん

先日目にした新聞記事に「教員の 8 割が授業の準備をする時間が足りないと感じている」との調査結果が示されていた。そこで、教員経験者に一定の研修を受けてもらった上でサポート職員として学校に派遣し、授業や行事の資料作成・印刷、答案の整理・採点、簡単なデータ入力、クラブ活動の一時的な監督などを負担するビジネスを提案したい。教員は今まで雑務に割いていた時間を自身の授業研究や生徒指導に充てることができる。教員の労働環境の改善は、生徒の学校生活の充実につながる。またこのビジネスによって教員経験者への再雇用の機会も生み出す。生徒の個人情報管理のためにも経験者に絞って採用し、各校固定の人員配置が必須である。

★優秀賞（図書カード2万円相当）5点

- 「長さが変わるつり革」
北海道札幌東商業高等学校2年 中村佳奈子さん
- 「無免許運転防止サービス」
青森大学経営学部2年 小板橋唯さん
- 「幸せな時間」
福島県立郡山商業高等学校3年 岡部優花さん
- 「共同キッチン」
千葉商科大学1年 大和久翼さん
- 「雨の日に靴を乾かしてくれる下駄箱」
東京都立芝商業高等学校2年 奥山 晋さん

★高校賞（図書カード5千円相当）12点

- 「選択自動販売機」北海道札幌東商業高等学校2年 金子夏綺さん
- 「迷惑メールに対するサービス」福島県立猪苗代高等学校3年 小板橋紗耶さん
- 「セーフブザー」福島県立郡山商業高等学校3年 橋本英人さん
- 「空車詳細表示電光掲示板」新潟県立五泉高等学校3年 清水陽さん
- 「なくしものをなくすシール」静岡県立沼津商業高等学校3年 菊池史織さん
- 「あらゆるクレジットカードを一つにまとめるアプリ」埼玉県新座総合技術高等学校2年 秋山琴音さん
- 「安心機能」北海道岩見沢緑綾高等学校2年 菅原芽衣さん
- 「学内IC化」昭和第一高等学校2年 東和さん
- 「センサー付きゴミ箱」福島県立平商業高等学校3年 鈴木美香さん
- 「一瞬で服を洗って乾燥してくれる機械」群馬県立嬭恋高等学校2年 根岸来夢さん
- 「校内連絡アプリ」新潟県立十日町総合高等学校3年 雲野茜さん
- 「テストで何点」北海道深川東高等学校3年 工藤早織さん